

行政視察報告書(3)

保存年限	永・10・⑥・3・1年	文書番号	1-1-0
公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 / <input type="checkbox"/> 不開示 (理由: 条例第 条第 号 該当)		
時限	<input type="checkbox"/> 不開示 (開示: 年 月 日)		
議長	副議長	局長	次長
係長	係		

平成30年 10月 24日
 会派名 糸魚川21クラブ
 代表者名 田原実
 報告者名 田原実

当会派は、下記のとおり視察したので、報告いたします。

記

1、視察議員名

田原 実

2、視察期間

平成 30年 10月 21日 (日) から
 平成 30年 10月 21日 (日) までの1日間

3、視察先

1、東京新宿区 (早稲田大学稲門祭と神楽坂近郊)

4、視察目的と概要

1、相馬御風顕彰

- ①早稲田大学構内の相馬御風を顕彰する施設等見学
- ②稲門祭での相馬御風と糸魚川市のPR
- ③カチューシャの唄知音都市交流のための基礎学習

<スケジュール>

10月21日 糸魚川発 5:00 専用バス
 早稲田着 10:00 設営手伝い、施設見学
 11:00 相馬御風ゆるキャラと構内練り歩き
 12:00 昼食
 12:30 記念撮影、「都の西北」合唱
 12:40 施設見学ツアー
 演劇博物館～早稲田大歴史館
 早稲田発 13:30 カチューシャの唄遺跡めぐり
 旧相馬御風居宅地～雑司ヶ谷霊園・島村抱月墓～
 神楽坂・芸術倶楽部～多聞院・松井須磨子墓
 早稲田着 15:40
 早稲田発 17:10 専用バス
 糸魚川着 21:00



5、レポート&写真

①

①早稲田大学構内の相馬御風を顕彰する施設等見学

参加した市民の方といっしょに、構内にある相馬御風と関わりのある施設を簡単に案内

- ・早稲田大学創立者 大隈重信公 彫像
- ・相馬御風作詞早稲田校歌「都の西北」歌碑 糸魚川産の天然石
- ・大隈記念講堂 外観
- ・演劇博物館 坪内逍遙記念館 外観

②稲門祭での相馬御風と糸魚川市のPR

- ・糸魚川出身早大生と顔合わせ
- ・展示ブースの準備
- ・着ぐるみ「御風さん」と構内を練り歩き、チラシと相馬御風名刺の配布
- ・大隈重信公彫像前にて集合写真撮影と早稲田校歌「都の西北」合唱

③カチューシャの唄知音都市交流のための基礎学習

- ・演劇博物館 坪内逍遙記念館 内覧
- ・早稲田大歴史館 内覧 相馬御風直筆「都の西北」他を見学
- ・徒歩で旧相馬御風居住地周辺を見学
- ・タクシーで移動し雑司ヶ谷霊園・島村抱月墓を見学
- ・タクシーで移動し神楽坂・芸術倶楽部（芸術座）跡地を見学
- ・タクシーで移動し多聞院・松井須磨子墓を見学
- ・タクシーで移動し早稲田大学へ

*ツアー用配布資料 別紙-1

- ・早稲田大学校友会 企画タイムテーブル
- ・西早稲田キャンパス地図、施設説明図
- ・カチューシャの唄遺跡めぐり案内図
- ・相馬御風と早稲田校歌作詞のエピソード
- ・相馬御風随筆 校歌「都の西北」と私

*名刺交換 別紙-2

- ・早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター事務長 鈴木護
- ・早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター 庄司英里
- ・早稲田大学歴史館 八島秀二
- ・DENKA 戸谷英樹（糸魚川稲門会）

*会場でごあいさつした方々

- ・浜田市役所職員 西谷課長さま
- ・東京糸魚川会 高間さま、松倉さまご夫婦、石塚さま
- ・糸魚川市出身早大生 高橋さまご兄弟

*参加された市民の感想

- ・はじめて参加した。早稲田大学に入ったことがなかったが入れてよかった。松井須磨子、島村抱月、相馬御風に関係する場所を巡ってよかった。楽しかった。
- ・早稲田大学へ来て、御風の作詞した校歌を石塚勇さんと歌ったことに感激した。楽しかった。
- ・到底縁のなかった早稲田大であったが、あんなにたくさんの方が稲門祭へ来て、楽しんでいるところへ行けた。楽しく見学でき、感動した。
- ・音楽隊のパレードを見て、やっぱり若さっていいなと改めて感じ元気をもらった。ただ、現役の学生たちに相馬御風のことがあまり知られていないということがわかり、少しがっかりした。
- ・稲門祭にはじめて参加した。早稲田は、やはりでかいと感じた。OBのみなさんがたくさん来て、糸魚川では考えられない人数でにぎわっていた。
- ・松井須磨子、島村抱月のお墓まいりができてよかった。できれば、現役の学生から校歌についての話を聞きたかった。また、校歌をいっしょに歌えるチャンスがあればいいと思う。
- ・東京までの日帰りであるが、このくらいの距離は丁度よかった。こういう機会をもっと作って、交流できればいいと思う。
- ・会津八一はりっぱな記念館があって、いいと思った。比べて御風の展示が、直筆の校歌の額と石碑だけというのは、糸魚川市民としてはさびしく感じた。
- ・物販、飲食のブースでさまざまところが出店しており、新潟県内では佐渡や松代などが出ていた。糸魚川からも出店してはいかがか。
- ・東京糸魚川会としても当日まで声掛けして参加している。これからも継続していくこと、工夫をしていくことを期待し、要望する。

【来年度への実施にむけて】

- ・バス車内での、資料をつかった簡単な事前学習をしておきたい。
御風の校歌作詞のエピソードについて
御風の出世と早稲田大での御風の仕事
芸術座の旗揚げとカチューシャの唄の流行
島村抱月の突然の死（スペインかぜ）と松井須磨子の自殺
御風の糸魚川への帰住と還元録
帰住後の御風と早稲田大学との関わり
早稲田大学での会津八一の出世
御風と八一の交流
カチューシャの唄知音都市交流の歴史
- ・ツアーガイドの依頼
早稲田大現役生に、施設案内を依頼すれば、校歌や御風の遺構について学んでくれる
- ・カチューシャの唄遺跡めぐりでの専用バス利用
雑司ヶ谷霊園～多聞院～神楽坂を専用バスでめぐり、神楽坂からはタクシーが良い

◎ 調査による所見

・相馬御風顕彰の現状と課題

これまでの糸魚川市における相馬御風顕彰は、短歌に才能を発揮した歌人、良寛研究家、童謡「春よ来い」作詞者、などの評価が主なものであり、早稲田大学校歌作詞者であることを知られているが、相馬御風が作詞をする経緯について、また早稲田文学の出版の中心にいたことについて、芸術座公演『復活』劇中歌「カチューシャの唄」の作詞者であることについては、あまり知られていない現状がある。これは、相馬御風の功績として、良寛研究と短歌の分野への脚光が当てられてきた御風顕彰の一方で、若き相馬御風の活躍については、クローズアップされてこなかった（してこなかった）ことに原因があると思われる。その理由は、御風が深く関わった「早稲田文学」の発禁や「芸術座」におけるスキャンダルといった事柄が、相馬御風の生涯を後世に紹介する上で、マイナス面と考えた人がいたためかもしれない。

しかしながら、いまから約30年前に島根県浜田市（旧金城町）からの提唱により発足した「カチューシャの唄知音（ちいん）都市交流」は、地方都市からの情報発信と都市交流の先駆的な取り組みで、島村抱月（浜田市）、松井須磨子（長野市松代）、中山晋平（中野市）、相馬御風（糸魚川市）それぞれの生誕地に郷土の偉人を顕彰する市民団体をつくり、人的交流をすすめる、その活動は現在もつづいている。糸魚川市においても4年に一度は担当都市として交流事業を主催し、意義ある学習会などで参加者からたいへん喜ばれている。そこには糸魚川市教育委員会文化振興課と産業部交流観光課の働きがあったと思う。このようにして、相馬御風が若かりしころ活躍した背景および功績について糸魚川市でも市民が知るようになってきた。さらに早稲田大学との間に平成28年に新潟県糸魚川市と早稲田大学教務部との連携・協力に関する協定を結んでおり、糸魚川市と早稲田大学とはさまざまな面でのパイプを太くし、糸魚川市の発展の活用されることが期待されている。相馬御風没後70年にして、ようやく早稲田大学の校歌や芸術座での相馬御風の仕事が、糸魚川市のために役立つ条件が整ってきた。

このタイミングをいかに活かすか、何をして何を得ることができるか、文化行政や教育委員会でよく考え、しっかり取り組んでいくべきだろう。また行政や関係者のみならず、多くの市民、さまざまな市民も考え、行動していくことも大切だろう。

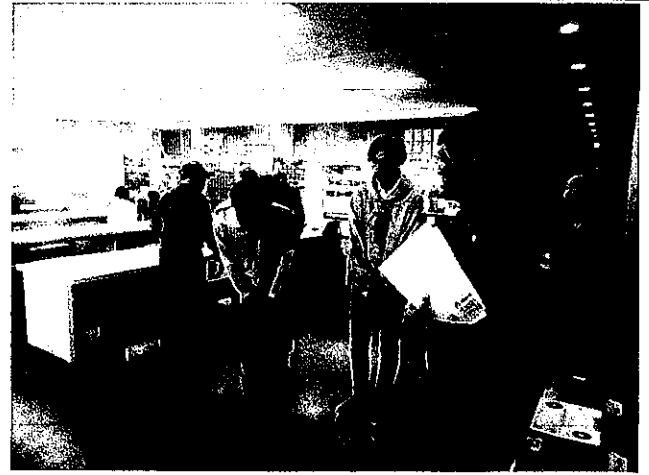
相馬御風を知らない糸魚川の若い市民がいるように、早稲田校歌の作詞者が相馬御風であることを知らない早稲田大学学生もいる。しかしながら、そんな今だからこそ生前の御風を知っているという人による相馬御風伝とは切り口が違ふ、先入観のないありのままの相馬御風を知る御風顕彰にとりくみ、相馬御風の名を広めることができるとも言える。そのための試行のひとつとして、普通の市民が参加する今回の早稲田大学稲門祭訪問とカチューシャの唄遺跡めぐりはあったと考える。今後もこの事業が継続することを願う。

・これからの取り組み（市民や早稲田大学とともに）への提言

- 1、「早稲田大学校歌」作詞のエピソード、全国の校歌の作詞を手掛けた相馬御風の仕事の再評価とその活用策を検討
- 2、「カチューシャの唄」を生んだ「芸術座」の仕事の再評価とその活用策を検討
- 3、1、2を子どもたちや若い人に向けてどうメディア化していくか、劇画化の検討
- 4、復興まちづくりの主要な計画として、相馬御風と全国の校歌をテーマにした資料館建設を検討



5 : 0 0 市役所前出発



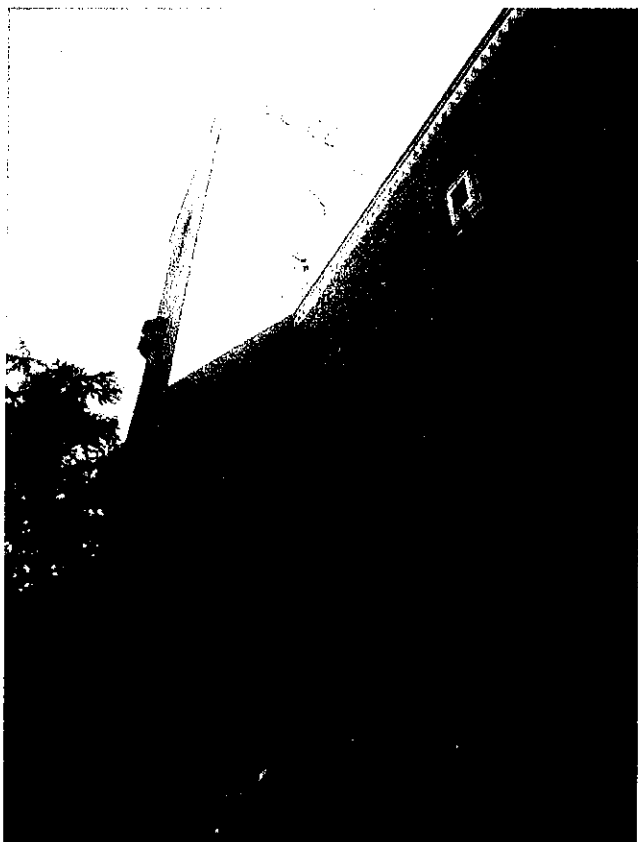
参加者、スタッフミーティング



校歌「都の西北」石碑



校歌石碑 糸魚川産の石を運んでつくった



大隈記念講堂



演劇博物館



大隈重信公彫像前で記念撮影



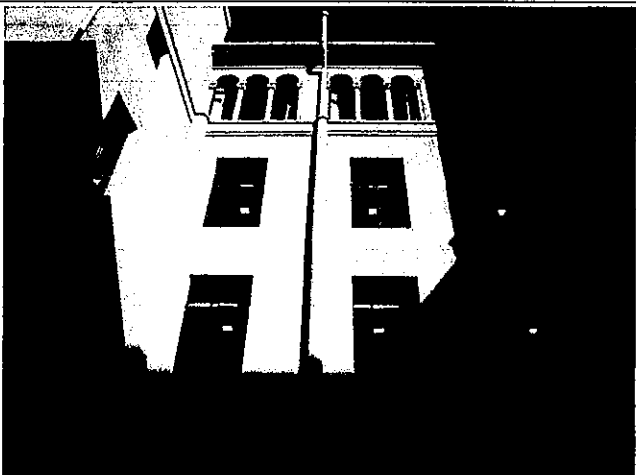
大隈重信公彫像前で記念撮影



御風さん、大隈公キャラ、早稲田ベアー



御風さんが人気で、情報拡散が期待できる



早稲田大歴史館



早稲田大歴史館 御風直筆の校歌が掲示





雑司ヶ谷霊園 島村抱月の墓



神楽坂 芸術倶楽部（芸術座）跡地



多聞院 松井須磨子の墓

